

桑名市議会議長  
南澤幸美様

第1班 班長  
伊藤研司 印

### 議会報告会実施結果報告書

開催日時	平成28年10月24日(月) 18時30分 ~ 20時00分		
開催場所	長島町総合支所 2階大会議室		
出席議員	班長	伊藤研司	
	司会	辻内裕也	記録者 伊藤研司
	倉田明子	小川満美	竹石正徳
参加人数	13人		
議会報告の概要	1、開会 2、挨拶・自己紹介 3、報告・説明 平成28年6月定例議会の概要説明及び議決結果の報告 平成28年9月定例議会の概要説明及び議決結果の報告 平成27年度 桑名市の決算状況及び決算特別委員会の各分科会 における主な質疑内容の報告 4、上記報告・説明に対する質疑応答(一部要望含む) 5、閉会		
主な意見・要望	【質疑・質問事項】 *6月議会、9月議会及び決算に関する事項から ・公共事業マネジメントと行・財政改革についてから ・防災・減災に対し、桑名市の取り組み姿勢について ・合併時の約束事について  【ご意見・答弁】 別紙のとおり		
備考	市民の方々の意見は、「防災・減災」と「合併時の約束事」に集約されてくると思われた。		

## 議会報告会記録

### 【第1班】

開催日時	平成28年10月24日(月) 18時30分～20時00分	
開催場所	長島総合支所 2階大会議室	
参加人数	13人	
議会報告に対する質疑応答	質 問	回 答
	<b>1 公共マネジメント関連</b>	
	*桑名市の将来像を実現するために、公共建築物を50年間で33%削減するとの中で、長島総合支所がセンター化され、伊曾島支所が廃止になるとの話が伝わってきている。	*国からも言われてアクションプランを作成している。今年度は、具体的にどこをどう減らしていくのか？というアクションプランを作成している。
	長島の人間は、1市2町の合併は対等合併と聞いているその時の約束では、「サービスの低下はない」との約束であった。しかし行政改革された時から、住民サービスが低下している。	事業評価を選んだのは、すでにモデル事業として公共施設マネジメントをいち早く取り組んでいる尼崎市を視察。尼崎市では、総合管理計画を作成した段階で、公募による市民会議をつくり、市民目線で行っている。
	以前は、長島内でできたことが、本庁まで行かねばならない。特に高齢者にとっては負担が大きい。	委員会では、先に市民の声を聞くためにも市民会議をつくり事業評価を行った。
	地域住民のための支所をいきなりつぶすのか？	総合支所のセンター化については、方向性は書いてあるが、具体的には出ていない。
	伊曾島のセンターを廃止する案も出ていると聞く。	旧・桑名市内のセンターの統廃合や機能転換を考えなくてはならない、と考えている。
	旧・桑名市内のセンターの今後は、どのようになるのか？	しかし、いきなり建物を無くすのではなく、地域住民による自主的な運営形態が望ましいのでは？と考えているが、市当局からは具体的な内容は聞いていない。
	・	
	*廃園後の3幼稚園の利活用については、昨年3月に	*長島の方々が言われるように、そんなに連絡がないとのこと
	要望事項として桑名市に提出したが、1年7カ月経過した	は初めて知った。マネジメント課に早急に言います。

現在も回答が出ていない	
長島地区には、宅老所がない。廃園した幼稚園を宅老所として活用したいと要望しているが、マネジメント課で検討しますというだけで、桑名市からは全く回答がない。	
幼稚園の利活用については、昨年議会報告会でも要望したが…？！	
*幼稚園のスクールバスは、長島地区は有料だが、他の地区では無料と聞いているが…？	*現在、多度地区では無料バス（幼稚園＋保育園）が走っている。将来は有料化していく予定とのこと。
<b>2 補助金問題</b>	
*補助金は全体的には増えているようだが、長島地区に限って言えば、平成26年度に桑名市全体で2割カットされた。5割カットされた多度地区では廃止になった。	*養老鉄道への補助金が新規に増えた分桑名市全体からすると増減は余りない。宅老所運営については、以前は補助金だったが、介護事業に振り替えて実績評価となったのでその分は減った。
多度地区には多度祭り、桑名市には石取り祭りがあるので良いかも知れないが、長島地区では全町的なイベントは町民体育大会しかない。50年続いている町民体育大会を止める訳にはいかない。市民目線で考えるならば、予算の増額を議員からも要望して頂きたい。	
*これまで貢献された方々への敬老金も廃止になった。イベントではトップの方が楽しみもあるので期待して待っていて下さいと挨拶もされるが…。	
<b>3 施設の運用</b>	
*BGの体育館の天井の工事がやっと8月に取り掛かった。使用できるのは1月から。2年間も活動ができなかった。長島の中で、女性の方が活動できる場所がなかった。	*議員とするとプールの廃止・閉鎖は全く聞いていない。

それと同時に、プールの閉鎖？も聞こえて来ている。長島	
においては、公共施設でのスポーツ施設は、BG施設と	
学校の体育館・プールだけ。そういう場所で活動している	
女性の方々は、多度・木曾岬・飛島まで行って活動してい	
た現状がある。	
プールの廃止は絶対に止めて欲しい！	
<b>4 財政問題</b>	
* 経常収支比率が若干改善されたのは、補助金をぶった切	* 経常収支比率が良くなったのは、消費税が5%から8%にな
ったからではないのか？その裏で泣いている人もいるの	ったのと、法人市民税が増えたため。
では？	
* 桑名市の市債の残高はどう推移しているのか？今回	* 市債残高は、26年度は、1千3百1億6千5百17万7
だけでなく、議会報告会の度に出して欲しい。	千円。 27年度は、1千3百14億1百33万3千円。
キャッシュフローと市債の残高だけでは分かりづらい。	現在は単式簿記だが、今後は国の指導もあり、新公会計を勉強
市民にも分かるように分かりやすく説明して欲しい。	している。
<b>5 防災・減災問題</b>	
* 行政は市民の幸せ(福祉・防災)を願って政策を行って	* 3・11の後、私たちは東日本大震災の被災地(石巻市・名取
いく。南海トラフ・東南海地震の問題も言われている。	市)への視察を行い、特に閑上地区の住民の方々から、助かっ
自分たちは伊勢湾台風を経験し高潮の怖さも知っている。	た方々・亡くなられた方々の状況・理由をお聞きした。
海拔ゼロメートル・マイナス地域に住む我々は大変神経質	高速道路へ徒歩で逃げられた方々が助かった事例をお聞きし
になっている。	桑名に戻ってから当局に東名阪での避難場所の確保を要望し、
しかし、国の指定からは外され、地域の防災施策がなか	12か所の設置につながった要因の一つになったと思う。
なか進まない現状がある。	
* 東名阪の避難場所設置は、自治会からも要望していた。	
伊曾島地区に限定して話すと、10月30日に防災訓練	
する。伊曾島地区には1千世帯4千人がいる。しかし、	
震災等で避難しようと思っても、1千2百人の避難場所が	



